

# 障害を理由とした差別と感じた訴え事例一覧

障害者差別解消法の施行に向けて、平成27年11月に箕面市障害者市民施策推進協議会を通じて、障害者差別であると感じた事例を集めたところ、直接体験されたことや、人から聞いたことなど合計104件の事例をいただきました。これらの事例のうち、情報提供者から公開に同意いただいたものを、箕面市障害者市民施策推進協議会の意見をふまえて一覧表にしました。

なお、いただいた事例の内容については、プライバシー保護などの観点から、その趣旨を損ねない範囲で一部修正しています。

また、障害者と相手方の双方に確認をした内容ではありませんので、あくまで「不当な差別的取扱い」や「合理的配慮の不提供」について考えるための参考資料としてご覧ください。客観的に見て正当な理由が存在する場合は、「不当な差別的取扱い」に該当しないことが、また、相手方に過重な負担が求められる場合には、「合理的配慮の不提供」に該当しないことがあります。

事例一覧に関するご意見などがありましたら、箕面市健康福祉部障害福祉課（電話072-727-9506、ファクス072-727-3539）までご連絡ください。

## 商品・サービス分野

	内 容
1	盲導犬の入店拒否についてです。市内の異国料理店で入店拒否にあったと聞きました。
2	ある食事店では、オープン前の市の検査時には車椅子駐車場を2台分入口前に作っておき、検査が終了したら車椅子駐車マークを消し、一般車両用の駐車場としていた。
3	ある食事店で車椅子での入室を拒否された。理由は床が立派な素材で出来ているので、傷付けられたくないとのこと。
4	銀行のカウンターが高くて、車椅子の人が書きにくい。また、キャッシュサービスも狭くて使いにくい。障害者の人が一人で来店して一人で用事を済ませることが困難。
5	テレビの通販、クイズなどで申し込みや応募の窓口が電話だけのことがある。特に興味はなくても、門前払いにされているようで、差別と感じる。（聴覚障害）
6	野球場に野球観戦の問合せをした際、「当日非常に混雑するので、車椅子の場合、安全を確保できる保障はないが、それでもよければ観戦してください。」と言われた。こちらは、「きちんと安全を確保してください。」と訴えたが、「安全は保障できない。」と続けられ、結局、観戦を断念した。
7	比較的規模の大きいホールや劇場での観劇、コンサートでも、指定席を買っていても車椅子の場合、一番後ろの通路（立観席）で観させられることが度々あった。

内 容	
8	観劇、コンサートなどでチケットを購入する際、車椅子での観覧だと言うと、一番高額な席のチケットを買わされる場合がかなりある。 車椅子のスペースが1、2カ所しかなく、こちらに座席の選択の余地はないにもかかわらず、一番高額なチケットを買わされるのは納得できない。
9	車椅子の目線の高さでは、銀行のATMの画面が光の反射で見えなかった。
10	居酒屋に入ろうと思って、「車椅子で行けますか。」と聞いたら、「うちは車椅子はお断りです。」と何店舗かに断られた。
11	脱毛サロンに通いたいと問い合わせをした。 Aサロンでは、「車椅子でならここでしか無理。」と言われた店舗の入口に階段があった。 Bサロンでは、「うちでは難しいです。」と言われ、「車椅子のお客はお断りってことですか。」と確認すると、「はい。」と言われた。
12	お好み焼きが食べたいと思い、ファッションビルにあったお店に行くと、「車椅子では入れないです。」とスタッフに断られた。店内は、段差などはなく、フラットで問題はなかった。

#### 公共交通機関、公共的施設・サービス等分野

内 容	
1	視覚に障害があるので、施設を利用できるかどうか受付に尋ねたが、ダメだと言われた。しかし、ガイドヘルパーと一緒に来た場合はと尋ねたら、利用してもいいと言われた。大変不愉快だった。
2	スポーツクラブに入会拒否をされた。 障害者が単独で施設の利用ができるか尋ねたところ、対応できないと拒否されました。（視覚障害）
3	会議や交流会に出席している時、誰が発言しているのか全くわからない。 経験されたかたが多勢います。（視覚障害）
4	知的障害者が高校生とトラブルになり、迎えに行った保護者が、仲裁者の対応が差別的だったことを支援者に訴えてこられた。「仲裁者は高校生や周りの人には聞き取りしているのに、本人には何も聞かなかった。」、「知的障害であることを伝えると、どうりで言っていることが分からなかったと言われた。」、「知的障害者への偏見を感じた。」など。
5	通勤で公共交通機関を利用しているが、その乗車中にトイレの失敗をしてしまったところ、「これ以上何度も繰り返すようなら、乗車を断りますよ」と言われた。

内 容	
6	タクシーを利用する時、「車椅子」と言うだけで断られる。
7	身障者用トイレなどに、鍵の位置が明らかに高いトイレがある。ヘルパーさんなど付き添いのかたが居れば外で待機してもらい利用する場合もあるが、一人で閉められないため利用できない。
8	公園の中に、車椅子では、入口の幅が狭く通れず、迂回しなくてはならない、段差や溝があり、遊び場まで移動できないといったところがあります。公共の場としてふさわしいバリアフリー化を進めてください。
9	小学生の時、外部講師の講習中、我が子が床にベターッと前傾姿勢で眠ってしまっていたそうです、その時、講師のかたが、「誰や寝ているのは。」と言い、我が子がハッと顔を上げた時、「あっ、寝てていい子か。」と言ったそうです。 勿論、講習中に寝るなんて失礼な事をしているのですから、怒ってくれば良かったのですが、そのかたも顔を見て、障害がある子だと分かって怒らないほうがいいと瞬時に判断しての発言と思います。 が、それは心の中の声にして欲しかったです。
10	車椅子の目線の高さでは、光の反射で電車の切符の画面が見えなかった。
11	タクシーに乗った時、運転手が「なんでガイドヘルプがついていないねん。」とつぶやいていた。 車椅子を積み降ろしするのが、嫌だったように思えた。
12	障害のあるかたと一緒に、研修の講師として行った時、会場で、あるかたから話しかけられた。その際、障害のない私には丁寧語で、身体障害のある男性に対しては「ため口」で意味もなく「がんばってね。」と言われ不愉快だった。
13	車椅子、ベビーカーでエレベーターを待っていると、車椅子、ベビーカー、高齢者の優先エレベーターでも車椅子が乗れず、いつまでも待っている事も多く、階段を抱えて上り下りします。 駅では、階段でエレベーターとかがないのですが、駅の人も手伝ってくれず、いつも階段を持ち上げてます。 電車などでも車椅子が乗るスペースを空けてくれず、「すみません。」と言うと、周りが「うざい。」という感じの対応をしたり、通りすがりに車椅子邪魔と蹴ったりされます。 動物園へ行っても一部分の所へ入れなかつたりします。ベビーカーは、降りてくださいなど。 ベビーカーの時と車椅子の時では、同じバスに乗っても対応が全然違います。今までベビーカーの時は、運転士さんに、「ベビーカーをちゃんと押さえといてや。」「子ども危ないで。」とか、「少しよけてくれる。」とか、ひどい時は、「ベビーカー畳んでもらえますか。」、とか言われてましたが、車椅子でバスに乗ると、逆に対応が親切すぎて戸惑います。（知的障害）

内 容	
14	<p>プールを利用しようとした時に、「精神障害者は利用できません。」と張り紙があった。受付で聞いてみたら、「はい、精神障害者の人は利用できません。」と言われた。その後、話し合いをして、その張り紙は取ってもらったけど、意識が低すぎると思った。プール側は以前、精神障害者の人がプールで問題を起こしたからと言っていたが、そういうことをひとまとめにして、私たちも利用できないのは、おかしいんじゃないかと思う。</p>

## 住宅分野

内 容	
1	<p>ひとり暮らしを始めるために、賃貸住宅紹介業者の店舗に出向き、借りる部屋探しをした時のこと。親と支援者に同行してもらい、障害のことも説明をした上で、借りる部屋の紹介を頼んだ。しかし、当初は、障害がある人に部屋を貸す紹介をすることは難しいと言われた。支援者が支援に入ることを説明してようやく紹介をもらえることになった。そして、借りる候補の部屋をふたつ選び、見学もして、第一希望と第二希望を伝えた。後日、第一希望の部屋については、貸し部屋のリストに載っていた物件であったのに、「他の目的で使用しているので貸せない」という返事だった。結果、第二希望の部屋を借りることができた。（知的障害）</p>
2	<p>車椅子だということで、家探しをしても、なかなか物件を紹介してもらえない。不動産屋さんからは「車椅子だと家が傷つくので嫌がる家主さんもいるんです。」と言われた。</p>
3	<p>身体障害のあるかたの家探しを手伝っていた時、物件の契約寸前になって、家主側から、障害者なので、保証人を代えるか、もう一人つけてほしいと言われた。結局、別に保証人をつけることが難しく、契約を断念した。</p>

## 情報・コミュニケーション分野

内 容	
1	<p>あるイベントの事前説明会のこと。「イベントに参加したい場合は必ず、説明会に出席してください。」と案内があった。そのため、説明会に出席するので、情報保障をつけてほしいというと、「特に出席しなくてもよい、資料は渡すので、質問があればFAXしてください。」と言われた。（聴覚障害）</p>

## 教育分野

内 容	
1	<p>学校を卒業する際に「あなたは、障害者手帳を持っているから進路指導をすることができません。」と言われたので、仕方なく就労支援機関等の相談につながってきた。</p>

内 容	
2	<p>小学校に通っている時、1日中養護学級で過ごすことが多かった。みんなで助け合って守ってところが、表向きのモットーだった。クラスメイトに他傷行為をした時、他の親から、「クラスを変えて欲しい。」「将来期待できないね。」「うちの子がお宅の子と同じクラスになったことは仕方ない事だと思っています。」「お宅の子どもさんに障害があるから何かやられても言っはけないよと主人と話してます。」「うちの家の前を歩かないで欲しい。」等、言われた。</p> <p>養護学級を手伝っている担任以外の方が2週間で担当を交替しており、「又、2週間しんどい思いをしないといけない。」と言われたことがある。</p>
3	<p>医療従事者資格の専門学校を受験しようとした際に、受験を拒否された。事前に車椅子使用の身体障害者であることを伝えたとうえで、願書を提出し、受験料を払ったが、学校から何の説明もないまま、ただ、受験料が家に送り返されてきた。学校側に実際に車椅子で活躍している医療従事者がいることなどを説明し、受験を拒否されたことを抗議したが、「あなたは援助を受ける側の人だから・・・。」などと言われ、ひどい差別だと感じた。</p> <p>抗議をしても埒が開かず、当時在籍していた大学に相談し、大学側から専門学校に申し入れをしてもらったところ、受験は認められたが、不合格であった。</p>
4	<p>全校生徒が対象であるにも関わらず、予算がなく看護師の配置ができないことを理由に医療的ケアが必要な子どもが利用できない。</p>
5	<p>障害があり、特別な配慮が必要と明記して、配慮する内容など相談させて頂きたいと言ったところ、プログラムの参加について辞退を促された。</p>
6	<p>子どもには、障害がありますが、行事で保護者同行を言われました。また、行事内容も、子どもには難しいものでした。</p> <p>難しいからやらない（参加しない）ではなく、できるプログラムと一緒に考えていきたかった。</p> <p>子どもも、あたり前にお友達と参加したかったのに、できなかった。</p>

## 医療分野

内 容	
1	<p>市内の病院に初診で行った時、医師に終始赤ちゃん言葉で会話された。（視覚障害）</p>
2	<p>体調不良で医療機関を受診したところ、検査のために他の医院を紹介された。紹介状を持って紹介先の医院に行ったが、診察室には母親だけが呼ばれて話を聞かただけで、結局、直接の診察や検査すらしてもらえなかった。これは実質的には診療拒否だと感じた。（肢体不自由）</p>

内 容	
3	<p>私は頻繁にある症状を罹っていました。掛かりつけの病院へ行きました。そこで、検査のため他の医院を紹介されて別の日に親と行きましたが、エレベーターや入口が狭く、車椅子で行き着くだけで大変でした。待合室で待っていると、医師は、診察に親だけを入れました。</p> <p>たぶん医師は私の顔の表情とか、障害の様子をみて、「診察室で暴れそう！」と思われたのでしょう。</p> <p>その後も、医師は私に指一本触れず、診察室にも入れてもらえず、親の話を聞いていましたが、結局最後まで、目的だったはずの検査をしてもらえず、全く体にも触れず、診察らしいこともありませんでした。</p> <p>その帰り道で、私は「これって、実質の診察拒否やんか。」と怒っていました。</p> <p>その後、親が必死で車椅子で行きやすい医院を探して、症状の治療をしてもらい、痛みはだんだん無くなりました。現在もその症状が出るとその医院を受診していますので、その症状については安心しています。</p>
4	<p>お見舞いに病院に出向いたところ、盲導犬の入室を断られた。</p> <p>入り口で盲導犬だけ置いていくように言われ、やむなく盲導犬を置いて友人をお見舞いした。</p>
5	<p>点滴などをはずすと、すごく怒られ、拘束されたり、「部屋から出ないでください。」と戸をバンと閉められたり、本人に「取ったらだめでしょ。」ときつく言ったり、思いきり手を握り「だめ！」と言われたりで本人も泣いて怖がっていました。（知的障害）</p>
6	<p>肩こりがひどくマッサージ院に2軒行ったが、2軒とも「車椅子の人を施術するのは無理です。」とハッキリ断られた。</p>

## 雇用分野

内 容	
1	<p>仕事（施設の清掃業務）の面接に行った際、病気（精神障害）のことを話すと病気の人は雇えないと言われた。</p>

## その他

内 容	
1	<p>ある利用者が自宅からの通所途上で、通りがかった小学生くらいの子どもから、「障害者や。」など差別的な言葉を発せられた。（肢体不自由）</p>
2	<p>外出していると、いきなり車椅子にのった障害のあるかたに対して、「邪魔だ！どけ！」と言っている人がいた。</p>
3	<p>私がまだ学生だった頃、家に身内が集まった時、めったに顔も見ない、誰かも知らなかった人に、指さされて、遠目に「あの子どもおかしいんやろ、大変やな、この家は。」と言われて、すごく悲しかったし、傷ついたので覚えている。</p>